

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		財産管理事務費 [東大和市財産価格審議会事務]										
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 6	財産管理費	事業番号	3				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	総務管財		課 用地管財			係	課長名	岩本 尚史				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 2				
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現							総合計画書 (ページ)	122				
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)								
	公共用地等の取得、処分、交換、賃貸借の対価			議案件数								
	→											
この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 適正に評定する。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)								
				申可決議案件数/議案件数×100								
	→											
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
	①議案書の作成 ②審議会開催 ③議案の付議 ④審議結果を市長に報告			審議会開催回数								
	→											
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標					
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	件	2	2	3						
	成果指標	②の数値	%	100.0	100.0	100.0						
	目 標	②の目標値	%	100	100	100						
		目標値設定の考え方										
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	0	0	0						
		特定財源	円	0	0	0						
	(うち受益者負担)		円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.1	0.1						0.1
		所要人数(再任用)		人	0.0	0.0						0.0
		職員人件費(再任用以外)		円	831,000	831,000						831,000
職員人件費(再任用)		円	0	0	0							
事業費+人件費		円	831,000	831,000	831,000							
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和51年度									
	(2) 環境の変化		特になし。									

事業名称	財産管理事務費 [東大和市財産価格審議会事務]			
担当部署・課長名	総務管財	課	用地管財	係 課長名 岩本 尚史

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 特になし。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)	
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 現状と同様に、今後も適正な処理を行っていく。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 特になし。	